

# 1. 基本方針（会頭ビジョン）

## ① 『めざせ、小さな世界都市』

- ・小さくても個性が光るまち
- ・世界に誇る産業都市に
- ・高いレベルのものづくりとソフト

## ② 『桐生のまち全体のブランド化』

- ・地域資源の磨き上げによるまちづくりの推進
- ・女性が憧れるブランド都市へ
- ・多彩な魅力のイメージのまとめ上げ

## ③ 『会員増強 2000会員の達成』

- ・いかに魅力的な会議所とするか
- ・会員事業所にとっての「打ち出の小槌」化

令和2年度のスタートに当たり、靱山和久会頭が打ち出したビジョンをもとにした基本方針を策定する。

「めざせ、小さな世界都市」とは、「小さくとも個性が光り、世界に誇り得る産業都市として高いレベルのものづくりの蓄積とソフトを有するまち」。世界市場を見据えて操業している事業所を顕彰し手本にしつつ、より多くの事業者が海外への販路開拓に挑戦できる諸施策に取り組んでいく。

「桐生のまち、全体のブランド化」では、豊富で魅力的な地域資源を磨き上げ、ひとつのイメージにまとめて桐生全体のブランド化に取り組み、桐生を女性の憧れのブランド都市にする。多くの観光客が訪れるまちにしていきたい。

「会員増強」は、永遠の課題、「大廃業時代」の到来と言われるなかで、商工会議所の存在意義が問われている。事業者にとって、いかに魅力的な会議所となり、頼りになる会議所にしていくことが重要である。会議所が事業者発展の「打ち出の小槌」となるような組織づくりに取り組んでいく。

以上のビジョンに基づいた事業活動の展開は、商工会議所のミッションである「会員企業の繁栄」「地域の活性化」「地域経済の発展」にもつながるものであり、重点事業分野を①中小・小規模事業者（会員事業所）の活力強化②地方創生と活力ある地域社会の実現③地域や企業の発展を後押しする政策提言④商工会議所の組織・機能強化—の4つのジャンルに分け、諸事業を実行していく。

事業の実施に当たっては、国連総会で採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）である17の包括的目標を踏まえ、遂行するものとする。

## 2. ビジョン実現に向けた重点事業項目

### I めざせ、小さな世界都市

#### 1. 海外先進都市の視察・調査・訪問

桐生を持続可能なまちとしていくために、アメリカ西海岸のポートランド視察を8月に実施する。独自の生活文化を持ち、地域の人やモノを優先する「ローカルファースト」や地産地消の経済循環が根づくまち、環境共生型の暮らし方を志向するポートランドに学ぶ。

#### 2. 会員事業所の海外展開・販路拡大支援

海外での販売が未経験な会員事業所などを対象にセミナーやテストマーケティング事業を実施。「海外展開ハイウェイ」事業などの導入を検討する。

#### 3. 小さな世界企業の育成・支援

すでに海外に販路を確立している管内の「世界企業」の顕在化とその育成・支援を通して「小さな世界都市・桐生」を発信する。

#### 4. 海外展開事業所の実態調査

経営支援委員会の答申に沿った海外展開事業所のリストアップと実態把握を行い、新規展開につなげるための施策を講じる。

### II 桐生のまち全体のブランド化

#### 1. 桐生の地域資源の磨き上げによる新たな価値創造

これまでのファッションタウンの運動のなかで掘り起こしてきた地域資源の検証とそれらを磨き上げ、新しい価値を創出し、桐生のまちのブランド化につなげていくための事業を行う。（地方創生委員会に諮問）

#### 2. 桐生初訪問者のための観光モデルルートの提案

桐生を初めて訪れる人たちのために代表的な観光モデルルートの策定・提案を行う。（交通・観光委員会に諮問）

#### 3. 桐生の魅力の多発的発信

桐生の魅力の世界発信についての具体的方法を情報・広報委員会の答申に基づき検討。また、インバウンド誘客を図るため外国人向けHPを制作し、桐生の魅力的な飲食店、小売店、工房ショップなどを掲載しPRを図る。

#### 4. 産業と自然、環境が共生する桐生スタイルの創出

豊かな自然に囲まれた産業都市・桐生に住む人々が環境にやさしく共生するサステイナブルなライフスタイルを志向するための提案を行う。（環境先進都市委員会に諮問）

#### 5. ものづくり全般の「メイドイン桐生」の創出

ものづくりのまち桐生の歴史、風土を掘り起こし、繊維製品だけではなく、ストーリーを語られるすべてのモノ全体のブランド化を進めて、「メイドイン桐生」として集約する。

### Ⅲ 会員増強 2, 000会員の達成

#### 1. 役員・議員・職員が一体となった会員増強運動の展開

商工会議所の活動の源である会員事業所2, 000会員の達成に向けて、組織をあげて全力で取り組む。(金融・税務委員会に諮問)

#### 2. 新たな会員サービス事業の創出

商工会議所のメリットや成果を検証し、K B I Cカードなど支援ツールの提供や会員向け新サービスの開発、研修会等の開催を通じ、会議所会員の退会防止と会員増強運動の強化推進につなげる。新たな会員サービスなど事業提案を行う。(会員交流委員会に諮問)

#### 3. 会員が参加できる事業の企画・実施

会員が会議所事業に参加できる機会を拡大し、会議所への帰属意識を醸成するためのイベントを含めた事業の企画提案を行う。(会員交流委員会に諮問)

#### 4. 会員事業所にとっての「打ち出の小槌」になるための諸施策の実施

会員事業所が悩みや相談などなんにでも応じられる商工会議所づくりを行う。会員にとって「打ち出の小槌」になるような会議所を目指す。

## 2-1. 緊急事業項目

### 新型コロナウイルス感染症についての緊急対策

#### 1. 新型コロナウイルス感染症についての対策本部事業

2020年初頭から世界的に拡大している新型コロナウイルス感染症については、学校の休校、事業所や集客施設の一時閉鎖、イベントや会合の自粛などにより、国内産業全体に及ぼす影響は計り知れず、当所会員アンケートでも80%が影響を受けている、あるいは今後懸念があると答えている。

会員事業所からの相談・問い合わせ等に事務局全体で対応するとともに国・県などの支援策の紹介や金融機関と連携した資金繰り支援に取り組む。この難局に対応するために年度末に立ち上げた会頭を本部長とする緊急対策本部を当面継続する。

### 3. 重点事業分野ごとの実施計画

#### I 中小・小規模事業者（会員事業所）の活力強化

##### 1. 新・経営発達支援計画に基づく小規模事業者の成長できる体質づくりと労働生産性の向上

平成27年度から令和2年度の5年間にわたり実施してきた第1期「経営発達支援事業」の成果と課題を基に、第2期経営発達支援事業を始動。目標を①小規模事業者の労働生産性向上②新規市場開拓の機会創出③産地のブランディングとプロモーション④地域資源を生かした店舗づくり⑤受発注の地域内還流⑥人材獲得機会の創出とする。

##### 2. 事業承継に取り組む事業所への承継支援と支援機関との連携、および第三者承継・M&Aへの環境整備

経営者の高齢化が進む一方で後継者確保がますます困難になっていることから事業承継税制の活用などにより円滑な事業承継に向けて、関係機関との連携による支援を行う。また、第三者承継・M&Aについては全国的に極めて成立案件が少ない状況から国が策定する「第三者承継支援総合パッケージ」を踏まえた環境整備・支援を行う。

##### 3. 小規模事業者に対する「事業継続力強化支援事業」の実施

小規模事業者の事業活動に大きな影響を及ぼす自然災害や感染症が多発している状況を踏まえ、事業者の事業継続力強化の取り組みを当所と市内2商工会、桐生市が共同で支援していく「事業継続力強化支援計画」を策定。これに基づき支援事業を実施する。

##### 4. 消費税率引き上げ後の影響調査と相談・支援

2019年10月に実施された消費税率引き上げおよび軽減税率制度の導入について、その影響を把握するとともに「消費税軽減税率・転嫁対策相談窓口」を通じて、軽減税率制度や消費税転嫁対策特別措置法等の周知・相談や、軽減税率・価格転嫁対策に資する経営力強化（価格戦略、コスト見直し、資金繰り等）を推進する。

##### 5. 管内事業者の増加に向けた集中的な創業支援

産業競争力強化法に基づく「桐生市特定創業支援事業」による創業、第二創業支援をはじめ関係機関と連携し、各種セミナーなどを行う。

##### 6. 技能向上及び人材育成事業についての支援強化

商工会議所の検定試験は、ビジネス実務に直結した知識や技能の習得度を測る「公的試験」として、社会的に高い評価と信頼を得ていることから、これまでの取り組みに加え、簿記検定の拡充など新たな事業、活動を積極的に展開していく。

## 7. 人手不足に対する積極的な対応と雇用安定対策の推進

人手不足が深刻化するなかで女性や高齢者による安定した労働力の確保が必要である。同時に働き方改革により、意欲と能力のある若者が将来に希望が持てる、働きやすい環境をつくることが地域の活性化に不可欠であり、地域や中小企業における若者・女性の活躍推進に向けた取り組みを積極的に支援する。

## 8. 新型コロナウイルスへの対策を含む会員事業所へのBCP計画策定支援

企業が自然災害や大火災、感染症、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合を想定して、損害を最小限にとどめつつ中核となる事業の継続や早期復旧を可能とするための、BCP（事業継続計画）。群馬県と「県内中小企業のBCP策定支援に関する協定」を締結した東京海上日動火災保険㈱により、BCP策定を支援する。

## 9. 会員事業所への健康経営取り組みの支援

健康経営は、従業員の健康を経営課題としてとらえ、その取り組みにより、従業員の健康保持・増進・生産性の向上、企業イメージの向上等につながり、ひいては組織の活性化、企業業績等の向上に寄与するものと考えられる。更に「健康経営優良法人」に認定され健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、社会的に評価を受けることができることから、会員企業への支援環境の整備を行う。

## 10. 全国の会議所との情報共有による小規模事業者対策の促進

日本商工会議所はじめ全国的なネットワークを最大限に活用し、中央の情報を積極的に収集することで、商工会議所が地域や会員企業の多様な要請に対応するため、自らの機能を最大限に発揮できるよう運営力の強化を図る。

# II 地方創生と活力ある地域社会の実現

## 1. 広域経済交流の促進（桐生市・みどり市・両毛五市）

日常生活圏を一にする行政の広域化に対処するために、桐生市、みどり市の商工会議所、商工会で構成された交流会並びに両毛五市商工会議所協議会の組織により、当該行政圏における経済活動の推進交流と共通課題の解決を図り、広域経済圏の振興発展に寄与する。

## 2. 産学官金との連携強化

地域の中小企業・小規模事業者の抱える経営課題が多様化・複雑化する中で、産学官金連携体制をより強化なものとし、きめ細かくサポートする。

## 3. 地域活性化戦略としてのファッションタウン構想の推進

桐生商工会議所が平成5年度にビジョンを策定して進めるファッションタウン構想は、産業界と市民、行政が一体となって、共通の地域の将来の夢を「ものづくり」と「まちづくり」と「くらしづくり」を連動させながら実現させようとする地域再生実践運動であり、地方創生につながる地域活性化戦略であることから、運動のさらなる充実強化を図る。

#### 4. 近代化産業遺産や食文化などの地域資源を活かした産業観光の推進

桐生地域に残る多くの近代化産業遺産の活用と食文化を活かした産業観光を推進することにより、伝統産業の魅力を発信し、地域の原風景や文化・伝統産業を残していく活動を進める。

#### 5. 広域連携やインバウンドによる新たな観光への取り組み

観光は地方創生の切り札と言われるなかで、観光資源の広域連携や外国人向けのホームページの作成などによるインバウンドへの対応を図り、新たな桐生の観光創出に取り組み。

#### 6. 蓄積された生産機能に基づく桐生マフラー・ストールのブランド化

地域ブランド化は、地域に根差した商品・サービスのブランド化と地域イメージのブランド化とを結びつけ、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化が図られることから、積極的に事業に取り組む。

#### 7. 中心市街地活性化に向けたまちづくりビジョンの策定

人口減少社会の中で、地域の力・にぎわいを維持・再生するためには、中心市街地を核としたコンパクトなまちづくりの実現が不可欠。桐生の中心市街地の長期ビジョンが見えないなかで、立地適正化計画、改正中心市街地活性化法や改正都市再生特別措置法等の研究や先進地視察などを通し、まちづくりビジョンの提案など自主的な中心市街地活性化の取り組みの加速を図る。

#### 8. 域外需要の取り込みと地域内消費の拡大・循環

地方にも広がりつつあるインバウンド観光需要を域内消費として取り込む具体的な対応策を検討するとともに、ふるさと納税の返礼品や仕組みについて研究する。

#### 9. 脱温暖化・環境対策活動の推進

群馬大学理工学部の「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」を契機に、産学官が一体となって脱温暖化対策に取り組み、さらに平成27年3月に桐生市の「桐生市環境先進都市将来構想」策定に基づき、環境先進都市に向けた環境整備の具現化をめざす。

#### 10. 市内4軌道路線をはじめとする公共交通の利便性向上に向けた調査・研究・提言

地方創生につながる軌道交通の利便性向上を図るための調査・研究・提言を行う。また両毛線・水戸線・八高線・相模線・横浜線の連携による「首都圏外周環状線」構想の具現化に努める。

#### 11. 婚活事業の継続的实施と広域連携

人口減少が顕著な桐生市にあって、定住人口や出生率の増加の可能性を秘めた重要な事業と位置づけ、両毛五市、桐生市みどり市経済交流会と連携した「婚活事業」を実施する。

#### 12. 産業人材育成のためのキャリア教育への取り組み

産業社会に役立つ人材を育てるキャリア教育は社会総がかりで行うべきで商工会議所は中心的な役割を果たすべきと日本商工会議所からの呼びかけがあり、群馬大学理工学部を核に産学官民が連携して進めている「未来創生塾」と同大学の学生を対象にしたインターンシップ制度への支援・連携を行う。

### Ⅲ 地域や企業の発展を後押しする政策提言

#### 1. 行政トップとの懇談会の開催による情報収集と政策提言展開

商工会議所の最大の役割である政策提言・要望活動を積極的に展開、そのために商工会議所は中長期的な観点から調査・研究を行い、政府、政党、行政機関などに提言し、政策に反映されるよう働きかける。

#### 2. 常議員会並びに部会活動による政策提言の構築

商工会議所の主なミッションは、地域の諸問題を解決するため、地域経済社会の代弁者として政策提言・要望活動等の積極的展開。その実現を図り、「地方の創生」をはじめとした様々な課題を解決するため、会員訪問や各種会議開催を通じた会員企業との積極的なコミュニケーションによる政策提言の構築。

#### 3. 委員会への会頭諮問による活動の活性化とその答申による桐生地域の課題への取り組み

委員会に対する会頭諮問による委員会機能の活性化と答申により地域が抱える課題を抽出し、目的達成に向けた取り組みや提言活動を展開する。

#### 4. 会員訪問並びに管内景況調査やL O B O調査による景気動向把握とアンケートによる会員の意見聴取

会員事業所の現場に立脚した声を踏まえ、桐生商工会議所の政策や事業活動に反映させるために積極的に会員訪問を実践し、意見のとりまとめを行う。さらに管内景況調査並びに商工会議所LOBO(早期景気観測)調査については、中小企業の景況感や直面する経営課題、地域経済の動向をリアルタイムに把握できるよう精度向上を図るとともに、調査結果は日本商工会議所を通じ、政府関係機関等へ政府会議資料とするなど積極的に活用する。

#### 5. 日本商工会議所、関東商工会議所連合会、群馬県商工会議所連合会、県内商工会議所等との連携による情報収集と課題把握

日本商工会議所はじめ、商工会議所ネットワークを生かして、情報収集と課題を把握することで、会員事業所へメリットある情報を提供する。

## IV 商工会議所の組織・機能強化

### 1. 創立80周年記念事業の展開による組織力強化

創立80周年の節目として記念誌の発行や記念式典、記念事業を展開し、これを契機に商工会議所の歴史や存在意義を確認し、更なる組織拡充強化を行う。

### 2. 会議の効率化とペーパーレス化の推進

会議の効率的運営に努めるとともにペーパーレス化の推進による省資源化を図る。

### 3. 情報発信力の強化による商工会議所業務の「見える化」「見せる化」

真のニーズに応えた政策提言・事業等を展開すると同時に、情報の内容充実と発信力強化により、企業・市民、地域社会からの信頼と評価を高める。さらに、メディアへの露出を高め、商工会議所の認知度・存在意義の向上を図る。

商工会議所各種事業をリアルタイムに発信し、商工会議所の考え方をわかりやすく解説するために、メディアへの露出を高めた確に管内事業所へ伝える。

### 4. 共済事業、検定事業など収益事業の拡充による財政基盤強化

商工会議所の財政基盤を強化するため、各種共済制度の一層の拡充を図るとともに、加入促進キャンペーンの実施や新たな収益事業の検討を行う。

### 5. BCP計画策定と「健康経営」への取り組み

大規模な自然災害やイベントでの事故等の緊急事態発生時に、当所が地域や会員企業を支えられるよう、危機管理に関する対応方針のため策定したBCP(事業継続計画)計画の随時再確認と履行・実践。健康経営は、従業員の健康を経営課題としてとらえ、組織の活性化、企業業績等の向上に寄与するものとして会員企業への支援を行う。

### 6. 会館の維持管理と会館貸室事業の拡大

建設されてから27年が経過する桐生商工会議所会館の維持管理に努め、老朽化している部分は補修を行い維持していく環境を整える。また、貸室事業の拡充強化を図る。

### 7. 女性会・青年部への積極的な活動支援

女性会、青年部の活動を支援するとともに、代表者の常議員会・議員総会への出席と活動報告並びに意見交換を行うことで事業連携を図る。

### 8. 行政並びに関係諸官庁、関係団体との連携強化

地域の中小企業・小規模事業者の抱える経営課題が多様化・複雑化する中で、商工会議所の支援のみならず広域連携・産学官金連携体制を構築し、きめ細かくサポートするために、それぞれの機関が日頃から、お互いの強みを理解し情報共有を図りつつ、商工会議所のイニシアティブのもと協同で経営支援に取り組む。